

宮城県多賀城高等学校と災害科学国際研究所との連携と協力に関する協定締結式を行いました (2016/6/1)

テーマ：包括的連携と相互の協力

会場：東北大学災害科学国際研究所 4階 演習室D

平成28年6月1日(水)東北大学災害科学国際研究所において、多賀城高等学校と東北大学災害科学国際研究所との連携と協力に関する協定締結式が開催されました。

多賀城高等学校は東日本大震災以降、被災地にある学校として『命と暮らしを守る』ための防災教育に真摯に取り組んできました。そして本年4月、防災系専門学科としては全国2校目、本県初の『災害科学科』が開設されました。

一方、東北大学においても、翌年平成24年4月に本学70年ぶりの研究所として災害科学国際研究所が発足し、災害科学の深化と実践的防災学の確立をミッションに上げ、100名ほどの教員・スタッフで、防災・減災に関する研究や教育を国内外の拠点組織と連携して実施しています。

多賀城高等学校と災害科学国際研究所は、既に以下のような取組みを行なっています。

- ・柴山明寛准教授(情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野)：多賀城市の減災市民会議や防災まち歩きとの連携、たがじょう見聞憶への協力
- ・佐藤翔輔助教(情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野)：講演、災害時の「生きる力」教育や2014 BOSAI CAMPとの連携、災害科学科教材への協力、災害科学国際研究所への視察(2015 オープンキャンパス)
- ・小野裕一教授、泉貴子准教授(情報管理・社会連携部門 社会連携オフィス)：APRUサマースクールでの連携
- ・今村文彦教授(災害リスク研究部門 津波工学研究分野)：防災教育専門アドバイザー(平成26年度より)、平成27年3月17日国連防災世界会議パブリックフォーラム、「生きる力」市民運動化推進のためのシンポジウムへの多賀城高等学校の参加、平成28年4月8日災害科学科開設式での講演

本協定は、今後とも多賀城高等学校と災害科学国際研究所がそれぞれに有する資源を活用し、学術研究、防災教育、地域社会の振興と発展、さらには未来を担う人材を育成するべく互いに連携協力を行なうことに合意したものです。

締結式には、多賀城高等学校から小泉博校長、佐々木克敬教頭、小野敬弘主幹教諭が出席された他、当研究所からは今村文彦所長、奥村誠副所長、丸谷浩明教授、村尾修教授、伊藤潔教授、小野裕一教授、佐藤健教授、佐藤翔輔助教、中鉢奈津子特任助教、阿部昭事務長が出席しました。協定についての説明の後、「多賀城高等学校と国立大学法人東北大学災害科学国際研究所との連携と協力に関する協定書」に、小泉校長と今村所長が署名し協定が締結されました。

協定締結に関する記事：IRIDeS NEWS「IRIDeSと多賀城高校が包括連携協定」もお読みください。<http://irides.tohoku.ac.jp/irides-news/20160602/988>



協定締結式



協定締結式

文責：鈴木通江(広報室)